

所 管	まちづくり企画部飯地振興事務所		
担 当	水野	問い合わせ	0573-26-6859
所 管	飯地自治区協議会		
担 当	各務	問い合わせ	0573-26-6859

報 道 機 関 各位

「カブキモノのひととき」の開催について

令和5年度に大規模改修が完了した地歌舞伎小屋の五毛座を活用し、音楽や落語、講談などを行うイベント「カブキモノのひととき」を開催します。ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

記

1. 日 時 令和7年2月16日（日曜日）正午から午後7時
2. 場 所 五毛座（恵那市飯地町185番地1）
3. 内 容 音楽や落語などを行う他、五毛座で過去に披露された地歌舞伎の演目を映像で紹介します。
 - （1）午後1時30分
野良落語家 ジュゲム
一門に属さない野良の噺家。家族でリヤカーを引き四国遍路したり、キャンピングカーで全国を投げ銭行脚したりしています。今回、MCも務めます。
 - （2）午後2時30分
紙芝居演者 童心庵じきじゅ
山岡町林昌寺の住職。作家や創作活動も活発に行っています。
 - （3）午後3時20分
講談師 神田昌味（かんだ まさみ）
恵那観光大使。各地で講談会を行っています。歌舞伎小屋で講談を行うのは初めて。

- (4) 午後4時20分 JUNNOS (じゅんのす)
シンガーソングライター。10年以上、種子島を拠点にしながら家族と日本全国をキャンピングカーで旅をし、歌を作ってライブをしていました。全国に子どもから大人までたくさんのファンがいます。昨年5月にベルギーに移住。一時帰国し恵那を来訪します。

※地歌舞伎の上映時間は未定

4. 見どころ 登録有形文化財、五毛座での初のライブイベント。これまでは、子供歌舞伎や本歌舞伎、フルート演奏が過去にありましたが落語や講談を行うのは初めてです。

飯地町の特産品や地域の屋台が集まり、老若男女が歌舞伎小屋で昔のように食べたり飲んだりしながら演目を楽しみます。

5. 主 催 飯地高原自然テント村（株式会社ひとと木の森）

6. 後 援 恵那市、飯地自治区協議会
恵那市観光協会飯地支部、飯地五毛座歌舞伎保存会

7. 事業内容の問い合わせ先
飯地高原自然テント村代表 加納 大士（だいし）電話 0573-22-3453

2025
2.16sun



@hitotakinomori

JUNNOS

一時帰国ライブ

ひとと木の森

ごもろざ
いいじ

開催時間 十二時〜十九時
開催場所 地歌舞伎小屋、五毛座
住所 岐阜県恵那市飯地町1-85の1

野良落語家

ジユゲム



JUGEM(じゅげむ)

昭63年 東京生まれまれ 愛媛県在住。一門に属さない野良の噺家。2024年 社会人落語日本一決定戦出場。2022年 家族でリヤカーを曳き四国遍路。2019年 キャンピングカーで全国を投銭行脚。

元ラッパー、元エコビレッジ村長、と異色の経歴を持つ、古典落語をベースに、司会(MC)、ギター弾き語り、スタンダップコメディ、フリースタイルラップ、ちんどん屋、出前蕎麦にチャイ屋まで、変幻自在の芸を持つ野良芸人。四児の父。趣味、マラソン・登山。

チケット
前売り 3,000縁
当日 3,500縁
高校生以下 無料!



↑前売り予約
こちらから

出店

【飯地町】飯地特産品部会(五平餅&豚汁) / atelier pirka(スイーツ)
【中野方町】古民家民宿ハニホヘト(エンパナーダ)
【七宗町】楽趣味(スパイスカレー) 【岐阜市】ニンゲル帽子屋(帽子)
【下呂市】カレーと喫茶わっこ(チャイ等)
【三河】あかミド(抹茶立て) 【土岐市】kira kira(雑貨)

歌人

じゅんのす



@junos2015

junos(ジュノス)

日本の旅系弾き語りの人。ソングライター。生身で全国に衝撃を作り続けて10年間、家車での巡業を繰り返し訪れた事の無い都道府県市は無い。新たな言語の獲得の為に長年住み慣れた種子島を後にして現在ヨーロッパに拠点を置く。趣味は釣り、四児の父。最新作は7thアルバム「寄港出航」

講師

神田昌味



@masami_kanda

紙芝居

じきじゅ



@jiki_jumiyachi

紙芝居演者「童心庵」じきじゅ

1967年 伊勢志摩生まれ。1994年出家 永平寺にて修行。2006年 大人向け紙芝居「夜の紙芝居」の制作とライブ活動を始める。2008年 恵那市山岡町「林昌寺」副住職となる。全国で主に大人向けの紙芝居として公演。NHK「にっぽん紀行」はじめ、各メディアで活動がとりあげられる。

講師 神田 昌味(かんだ まさみ)

平成元年二月、二代目神田山陽に入門
平成元年三月初高座(高校生18歳の時)入門当初から話題となり数々のテレビ番組で取り上げられる。
平成十一年十月、世界で十一番目の女性真打となる。
講談をもっと身近にとの思いで、蕎麦屋さん、お寿司屋さん、鰻屋さんなどで開催し、講談とふれあう、昌味とふれあう講談会を開いている。
寄席や講談会出演の他、独演会や二人会を開いている。